

第20回あらいマスターズソフトボール大会申し合わせ事項

1. グラウンドルールについて
 - (1) 盗塁は認めない。また、ピッチャーの投球時におけるキャッチャーのパスボールによる進塁も認めない。
 - (2) 振り逃げは認めない。
 - (3) ボールデッド以外のインフィールドは、全てフリーとする。
 - (4) ベンチ及びベンチラインにボールが入った場合、またバックネットより後ろにボールが入った場合、バックネットにボールが挟まった場合はワンベースとする。
 - (5) 1 塁ベースは、ランナー用に補助ベースを用意するので、そこを踏む。
 - (6) ベースを蹴って動いた場合は、塁審が元の位置に戻る。
 - (7) ベースが動いた場合、ランナーはベースがある所か、あったと思われる所に立つ。
 - (8) ピッチャーは、プレートに両足を揃えて乗せて一旦静止し、前方へ一歩踏み出して投球する。
 - (9) 次のような投球は不正投球とし、その投球はボールとする。
 - ① 投球動作中にプレートよりも後方に足を踏み出して投球した場合。
 - ② 投球の際、手首が肘よりも身体から遠くはなれた場合。
 - (10) デッドボールは、ボールとする。
 - (11) タッチアップによる進塁を認める。
 - (12) 野手は、正規の1 塁ベースを踏む。(補助ベースを踏んだ場合は無効とする)
 - (13) プレーヤーはいったん試合から離れても、一度に限り再出場することができる。再出場する場合には、元の自分の打順に戻らなければならない。
 - (14) その他はすべてフリーとする。
- 2 塁間の距離は18.29m、投手板から本塁までの14.02mとする。
- 3 試合中の審判への抗議は、ベンチ入りしている監督及びコーチに限る。
- 4 塁審は、各チームから塁審のできる成人を次のとおり選出して行う。
 - (1) 第1 試合は、第2 試合の各チームからそれぞれ 2 名ずつ。
 - (2) 第2 試合以降は、その前の試合の敗者チームから 4 名。
 - (3) 三位決定戦は行わない。準決勝の敗者2チームを三位とする。
- 5 得点係・ボール係は、各チームから次のとおり選出して行う。
 - (1) 第1 試合は、第2 試合の各チームからそれぞれ 1 名ずつ。
 - (2) 第2 試合以降は、その前の試合の敗者チームから 2 名。
- 6 同一地区もしくは同一町内で複数出場している場合は、チーム間での選手の交代は認めない。
- 7 試合中は、2名以上の女性を含むとする。
- 8 その他のことは、主審の権限とする。